

敬老祝金を見直しました

☎長寿介護課
9833・2609

三島市に1年以上居住する75歳以上の年に毎年一律に贈呈していた敬老祝金を見直し、金額を増やしたうえで一定の節目ごとに贈呈し長寿を祝います。

見直しによる捻出額は、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を続けるための「地域包括ケアシステム（※左下参照）」の構築など、高齢者からお孫さんまで、未来を見据えた福祉事業に役立てます。

受給対象者と金額

①77歳・88歳の人

金額

1万円

【対象となる人】

基準日の9月15日時点で満77歳または満88歳の人

②100歳の人

金額

5万円

【対象となる人】

年度中に100歳の誕生日を迎えた人（満100歳）

受け取り方法

◎窓口にお越しください

各地区の公民館や市役所に一定期間専用窓口を設け、申請受付後に贈呈します。（代理も可、要通知持参）
なお、100歳の人には、市長（または市職員）が自宅を訪問し、贈呈します。

【通知の送付】

受給対象者には、会場・持ち物などを記載した事前通知を市から送ります。

捻出した予算は

福祉の充実に

■主な新しく始まる事業

- ①バス等利用助成事業の適用枠拡大（タクシー利用可）
75歳以上の人は、バスなどのほかタクシーでも助成券が利用できるようになります。
- ②「医療介護連携センター」の開設
在宅で安心して医療や介護を受けられるよう、退院時にかかりつけ医を紹介したり、緩和ケアや見取りに関する専門相談機関として、三島市医師会内（南本町4・31）に開設します。
- ③認知症高齢者見守り事業
見守りが必要な高齢者に対し、希望によりシールを配布。シールを読み取ることで本人確認ができ、
- ④高齢者総合相談窓口の設置
高齢者福祉に関する窓口です。専任の職員が対応し、介護認定や、事業の紹介など、必要なサービスを案内します。
- ⑤おれんじほっとサロンの拡充
認知症高齢者に関する相談や支援のためのサロンを市内に増設します。また、「認知症家族を支える会」を発足します。
- ⑥生活支援コーディネーターの拡充
関係団体と連携を図りながら、ゴミ出しなどの生活支援体制や、居場所づくりの整備を推進していきます。
- ⑦幼稚園保育料算定にかかる多子世帯保育料軽減の拡充
世帯の所得や第1子の年齢の制限なしに、第2子を半額、第3子を無料にし、多子世帯の経済的負担を軽減します。

※地域包括ケアシステム

医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域の仕組みづくり

連載
ガーデンシティ
みしま



あなたの手で、 まちに彩を加えませんか

～花づくりを楽しむために～
初めての園芸⑩
「花選びのコツ」

花を選ぶとき、つい花の色や形で選び、花が咲かずに枯れてしまった経験はありませんか。失敗しない花選びのコツは、付いているラベルをよく見ることです。ラベルにはその花が持つ性質や特徴、開花期、管理方法などの情報も載っており、上手に育てられるかの判断基準になります。

花の特徴をよく知ることが成功する花選びの秘訣です。葉の色が濃いこと、株もとがしっかりしていること、茎などが間延びしてないこと、病害虫が無いのも良い花を選ぶ条件です。

自分に合った花を選び、ガーデニングを楽しみましょう。

🌸 「花サポーターみしま」 会員を募集しています (随時)

活動内容 中心市街地の花飾りの手入れ、作業花飾り管理活動 (月1回程度)、季節ごとの花飾りの作成など

年会費 500円 (保険料など)

対象 園芸に興味のある人、花を楽しみながら仲間づくりをしたい人など

※参加できるときにご参加ください。

問合せ 水と緑の課



▲花でおもてなしをします

🌸 「三島花の会」 会員を募集しています (随時)

活動内容 月に1回程度の花壇管理作業、市内清掃作業 (年2回)、視察研修、園芸の専門家を招いた花の講習会

年会費 500円 (保険代など) ※視察研修や講習会に参加する際は別途実費

対象 花が好きで活動に参加できる人

※参加できるときにご参加ください。

問合せ 水と緑の課



▲専門家による指導

を願っています。

オープンガーデンをする人が増えることを願っています。



15年前、自宅の庭を広げたことをきっかけに本格的にガーデニングを始めました。塀は花を飾ることを前提にデザインし、ベンチやスタンドなどは夫や近所の人の手作りの品を活用したり、骨董店で出会った雑貨などで工夫したりしています。花を飾るときは難しいことは考えず、好きな色とイメージで苗をそろえ、その花がいきる組み合わせで植え込んでいきます。以前生け花を教えたことや日本画を習っていた経験が、花色を決める際に役立っているのかもしれない。

種子から育てるビオラなどの成長や、こぼれ種のクリスマスローズが思いがけない花色に育つなど、発見があります。毎日花とおしゃべりしながら花の成長を見守る日々が楽しみです。

大木 和代さん

三島市花壇コンクール平成28年度市長賞

「私も参加しています」
ガーデンシティ

20